

1 沿革

佐賀県衛生薬業センターは、平成13年、佐賀県衛生研究所と佐賀県薬業指導所が統合し、現在に至っています。

衛生研究所の前身は元警察部衛生課に属し、細菌検査室と衛生試験室に分かれて業務を行っていました。のちに、内務部へ、終戦後は衛生行政の拡充に伴い教育民生部衛生課に移管されました。

地方衛生研究所設置要綱(昭和23年4月7日厚生省発予第20号)に基づき、細菌検査・衛生試験を強化するため、検査・試験両室を統合整備して、昭和23年10月22日佐賀県衛生研究所(県庁構内)が発足しました。

一方、佐賀県薬業指導所の前身である佐賀県立売薬研究所は昭和7年佐賀市に設立されました。

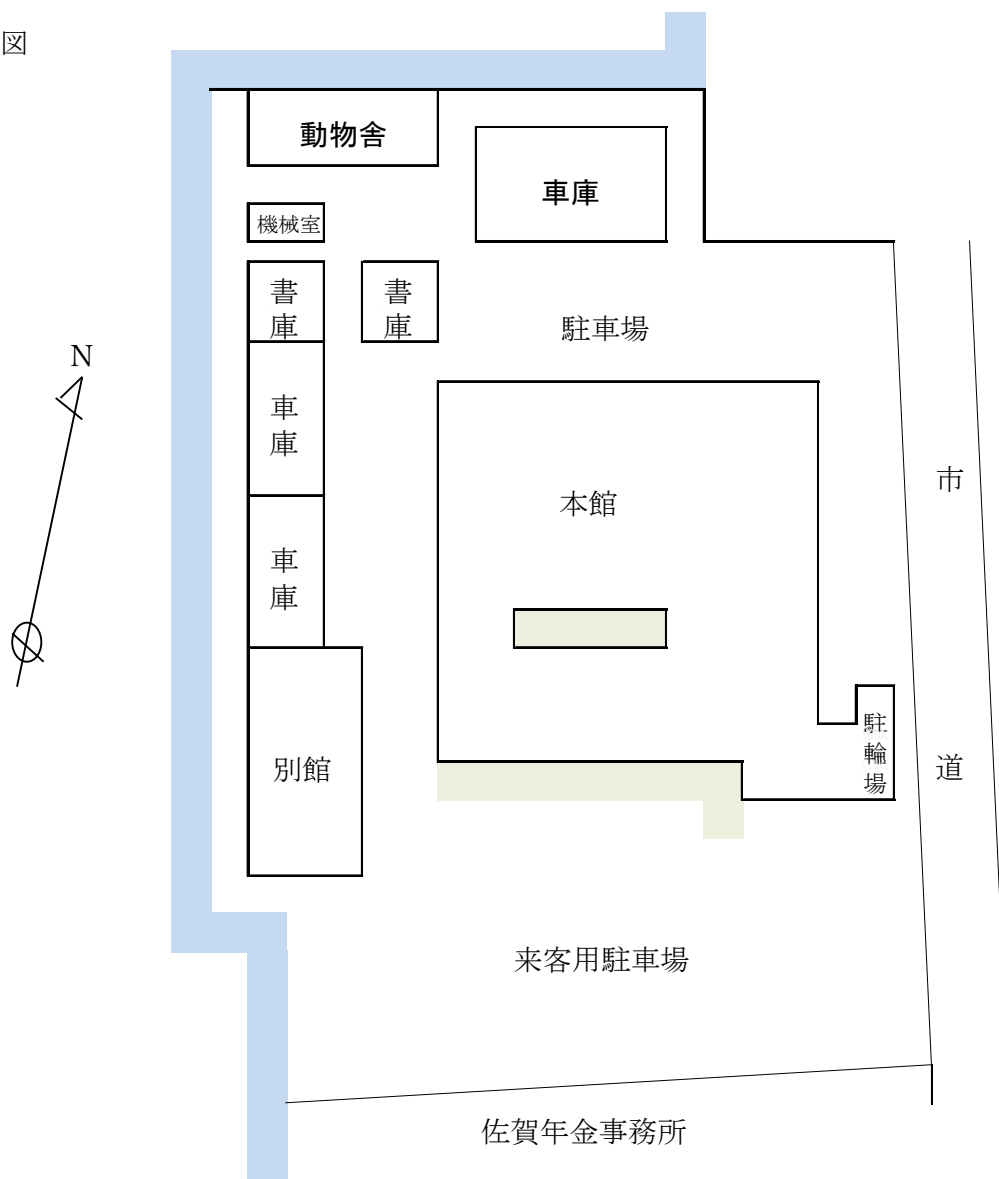
昭和24年4月	総務課、試験検査課の2課制となる
昭和27年	薬業指導所の設置(鳥栖市大正町)
昭和36年3月	試験検査課が細菌検査室と理化学検査室に分かれる
昭和38年10月	総務課、微生物検査課、理化学試験課の3課制となる
昭和40年6月	衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所)の新設に伴い移転(佐賀市水ヶ江一丁目)
昭和42年	薬業指導所の移転(鳥栖市宿町)
昭和45年9月	公害検査課が新設され4課制となる
昭和49年4月	佐賀県公害センター設置に伴い公害検査課は公害センターに移管され3課制となる
昭和58年12月	衛生合同庁舎(佐賀保健所、衛生研究所、精神保健福祉センター)の新設に伴い移転(佐賀市八丁畷町)
平成13年7月	薬業指導所を統合し、医薬品課を新設、「佐賀県衛生薬業センター」に名称変更
平成14年4月	総務課が廃止され、微生物課、理化学課、医薬品課の3課制となる
平成22年4月	佐賀中部、唐津、杵藤保健福祉事務所の検査部門を統合し、ウイルス課、細菌課、食品化学課、環境衛生課、医薬品課の5課制となる
平成26年4月	食品化学課と環境衛生課が統合されて、食品担当と環境衛生担当の2係からなる理化学課となり、ウイルス課、細菌課、医薬品課と合わせて4課制となる
令和2年4月	精度管理・企画情報課を新設し、ウイルス課と細菌課が統合されて微生物課となり、理化学課、医薬品課と合わせて4課制となる

(歴 代 所 長)

山口 伊典	(昭和24年4月～昭和27年3月)
西村 信一	(昭和27年6月～昭和28年1月)
清水 正一	(昭和28年2月～昭和55年3月)
佐藤 一江	(昭和55年4月～昭和60年3月)
佐柳 進	(昭和60年4月～昭和60年12月)
本村 資光	(昭和60年12月～平成元年4月)
土田 龍馬	(平成元年4月～平成6年3月)
石塚 正敏	(平成6年4月～平成8年7月)
金井 雅利	(平成8年8月～平成11年7月)
山崎 勝彦	(平成11年8月～平成14年3月)
山口 博之	(平成14年4月～平成16年3月)
下平 裕之	(平成16年4月～平成17年3月)
久保 康典	(平成17年4月～平成18年3月)
藤原 義行	(平成18年4月～平成20年3月)
武田 裕二	(平成20年4月～平成22年3月)
轟田 清典	(平成22年4月～平成24年3月)
古川 義朗	(平成24年4月～平成25年3月)
平野 圭子	(平成25年4月～平成26年3月)
中尾 剛	(平成26年4月～平成28年3月)
北島 淳二	(平成28年4月～平成30年3月)
石橋 博	(平成30年4月～平成31年3月)
東島 誠路	(平成31年4月～令和3年3月)
八ヶ代 一郎	(令和3年4月～令和4年3月)
吉村 博文	(令和4年4月～令和5年3月)

2 施設

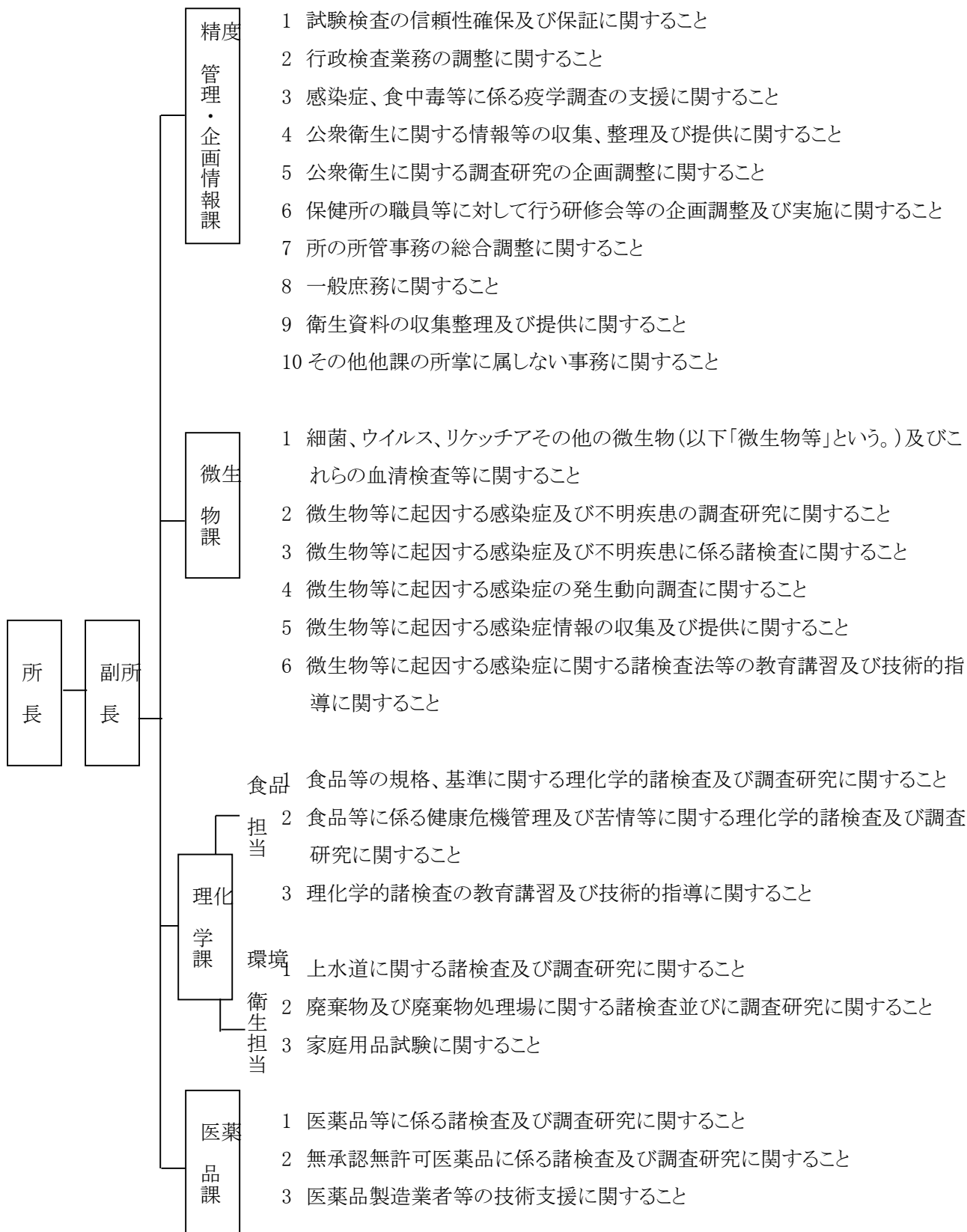
(1) 庁舎配置図



(2) 建物面積

- ①衛生薬業センター 1,802.42 m²
 - 3階、4階 全フローア
 - 1階 環境試験室 2階 細菌検査室・食品検査室
 - (1階・2階は、佐賀中部保健福祉事務所と併設)
- ②動物舎(鉄筋ブロック造) 60.75 m²

3 組織及び業務



4 職員の構成

令和5年3月31日現在

区 分	医師	獣医師	薬剤師	臨床検査技師(短※1)	理工系	技術員等(短※1)	計
所 長			1				1
副 所 長	1※2		1				2
精度管理・ 企画情報課			2	1(1)		1(1)	4(2)
微生物課		1	2	8(3)		2(2)	13(5)
理化学課					1		1
食 品 担 当			3		1		4
環境衛生担当		1		1(1)	2	1(1)	5(2)
医薬品課			3				3
計	1	2	12	10(5)	4	4(4)	33(9)

※1 短時間勤務(内数)

※2本務:佐賀中部保健所長